

# 焼尻めん羊牧場に

## 「ふれあいファーム」が完成

焼尻めん羊牧場に建設中の乾草保管施設(乾草舎)の外観がこのほど完成し、9月25日、島民を対象に施設見学会を開催しました。

### 牧場風景に映える木造建構造

この乾草舎は、めん羊の頭数増加により現在の施設では乾草の保管容量が足りないことから北海道の補助を受けて建設。建物は潮風にあたって腐食しにくい木造建を採用。材木も林業振興を目的に地域材(羽幌産、小平産)を使用しています。



▶クラフト体験で作成したプレートを掲げ、ひとりずつ感想を述べながら発表する子どもたち。



見学会では、留萌振興局森林室の担当者が木造施設の断熱効果や保温性の高さについて、木材は熱を伝えにくく蓄えやすい。さまざまな場面で積極的に活用してほしいと呼びかけました。

見学会終了後は、町内の手芸団体(緬羊(ひつじ)工房アイランドサフォーク)のみなさんによるクラフト体験会も行われ、焼尻サフォークの2色の毛であしらったプレートを製作。参加者は講師の手ほどきを受けながら、自分だけのオリジナル品を完成させていました。

「ふれあいファーム」は、放牧のない秋冬は乾草の保管施設として、夏の観光時期にはめん羊とのふれあいやクラフト体験などを行う体験型施設として活用する予定です。